

12

第12章

RX-78の仕様

RX-78の仕様まで知ってこそ、RX-78をすべて知りつくしたことになる。今、全部わからなくても、いつかきっとRX-78の本当の実力がわかるときがくるだろう。

BS-BASIC仕様のまとめ

BS-BASICの仕様をまとめて示します。

形 式	中間言語形式インターフリタ	
	大 き さ	約16K バイト
先 頭 ア ド レ ス		\$ 2000番地
浮動小数点形式、有効数字8桁×10 ^{±19} の実数		
実 数 範 囲	0.271055E-19~0.92233720E+19	
数 値 デ 一 タ		LIMIT, POKE, PEEK, USR, CHR\$ のアスキーコード（このときは16進2桁）、OUT@のポート番号及び数値データINP@のポート番号の各コマンドにおいて直接16進番地、及び16進データを指定する場合にのみ使用可能であり、16進の前に" \$"マークをつけて示します。 (例) LIMIT \$ CFFF
数 値 变 数	種 類	数値变数、1次元配列数値变数、2次元配列数値变数
	(1) 数 値 变 数	変数名は、はじめの2文字が有効です。また、はじめの文字は、英字の大文字を使わなくてはなりません。残りの文字は、英字の大文字と数字が使えます。特殊文字、あるいは、BASICで使用しているキーワードまたは、キーワードを含む名前を使うことはできません。 (例) A, X, FI, AAなどは可。ABCとABDは同じ变数とみなします。DATA, XDATA, A#などは不可。
	(2) 1次元配列数値变 数	配列の最大は、255まで、DIMによって配列を定義しなくてはなりません。(1)の数値变数と同様の条件で変数名が決められます。配列は、カッコ内に添字を置いて示します。 (例) DIM Q(100)によってQ(0)からQ(100)まで定義されます。
	(3) 2次元配列数値变 数	配列の添字を2つもつ变数で、各種字について定義できる配列の最大は、255までですがメモリの使用状態によって制限されることになります。 (例) DIM A1(7,7)によってA1(0,0)からA1(7,7)まで、8×8=64の配列要素をもつ2次元配列A1が定義されます。
ストリングデータ	ストリングの最大長	255文字
	ストリングで扱う内部 コ ー ド	各文字のASCIIコード列、終端にキャリッジリターンコード0DHがつきます。
文 字 变 数	種 類	文字变数、1次元配列文字变数、2次元配列文字变数
	形 式	文字变数は、数値变数の場合と同様の条件で選んだ名前に\$記号をつけることによって表現します。 変数名の規則、配列型文字变数の定義などは、数値变数の場合と同様 (例) A\$、ST\$、NI\$は、通常の文字变数。NAME1\$とNAME2\$は同じ文字变数とみなします。CHR\$()などは特殊文字变数。 DIM S\$(3,3)によって、S\$(0,0)からS\$(3,3)まで4×4=16の配列要素をもつ2次元文字配列S\$が定義されます。

その他の仕様
定数など

- (1) 文番号：1～65535の間で使用できます。
- (2) LOAD, SAVE, VERIFYにおけるファイルネームの有効桁数：最大16文字
- (3) CURSOR X, YコマンドにおけるXとY：X=0～29、Y=0～22
- (4) SET X、Yは、X=0～191、Y=0～183
- (5) FOR～NEXTループのネスティング：最大10まで重ねることが可能
- (6) GOSUBによるネスティング：最大15まで重ねることが可能
- (7) DEF FNによる関数定義における関数定義のネスティング：最大5まで重ねることが可能
- (8) INP, OUT命令による入出力ポートアドレス：10進数で0～255入出力されるデータ：8ビットデータ、10進数で0～255
- (9) オートリピート機能：[STOP] [RETURN] キー以外の各キーについてあります。
- (10) 円周率πの値： $\pi = 3.1415927$